

令和4年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	秋田県		市町村類型	II-2		指定団体等の指定状況		区分		令和4年度(千円)		令和3年度(千円)		区分		令和4年度(千円・%)		令和3年度(千円・%)																																																																																																																																																																															
						財政健全化等	×	歳入総額	6,634,856	6,604,175	実収支比率	4.3	11.2																																																																																																																																																																																				
市町村名	五城目町		地方交付税種地	2-2		財源超過	×	歳出総額	6,403,274	6,159,736	経常収支比率	93.1	88.6																																																																																																																																																																																				
						首都	×	歳入歳出差引	231,582	444,439	(※1)	(94.0)	(91.0)																																																																																																																																																																																				
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	69,077	8,559	標準財政規模	3,814,610	3,906,852																																																																																																																																																																																				
						中部	×	実収支	162,505	435,880	財政力指数	0.25	0.25																																																																																																																																																																																				
人口	令和2年国調(人)	8,538	産業構造(※5)		過疎	○	単年度収支	-273,375	131,793	公債費負担比率	13.4	12.8																																																																																																																																																																																					
	平成27年国調(人)	9,463			山振	○	積立金	110,836	151,743	健全化判断比率																																																																																																																																																																																							
	増減率(%)	-9.8			低開発	×	繰上償還金	56,942	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																					
住民基本台帳人口(※7)	令和05.01.01(人)	8,369	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	0	0	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																				
	うち日本人(人)	8,350	第1次	461	534	指数表選定	○	実質単年度収支	-105,597	283,536	実質公債費比率	9.5	10.0																																																																																																																																																																																				
	令和04.01.01(人)	8,617		第2次	11.6	12.4	基準財政収入額	872,023	853,427	将来負担比率	52.1	62.3																																																																																																																																																																																					
	うち日本人(人)	8,603	996		1,127	基準財政需要額	3,578,358	3,571,098	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																																								
	増減率(%)	-2.9	第3次	25.0	26.2	標準税収入額等	1,070,350	1,048,518																																																																																																																																																																																									
	うち日本人(%)	-2.9		2,526	2,634	経常経費充当一般財源等	3,569,914	3,463,533																																																																																																																																																																																									
面積(km ²)	214.92		63.4	61.3	歳入一般財源等	4,873,595	4,701,270																																																																																																																																																																																										
人口密度(人/km ²)	40																																																																																																																																																																																																
世帯数(世帯)	3,351																																																																																																																																																																																																
職員の状況(※8)																																																																																																																																																																																																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	6,152,605	6,247,956																																																																																																																																																																																						
	市区町村長	1	7,200	一般職員等(※6)	一般職員	123	352,395	2,865	うち公的資金	5,118,022	5,053,543																																																																																																																																																																																						
	副市区町村長	1	5,550		うち消防職員	29	80,301	2,769	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	4,272,035	4,126,348																																																																																																																																																																																						
	教育長	1	4,900		うち技能労務職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	29,589	26,528																																																																																																																																																																																						
	議会議長	1	2,800		教育公務員	1	*	*	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																																						
	議会副議長	1	2,450		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	22,705	22,693																																																																																																																																																																																						
	議会議員	12	2,350		合計	124	356,078	2,872	財政調整基金	1,285,820	1,174,982																																																																																																																																																																																						
						ラスパイレシ指数			97.3	積立金現在高	1,684	1,683																																																																																																																																																																																					
										減債基金	462,223	373,544																																																																																																																																																																																					
										その他特定目的基金																																																																																																																																																																																							
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(3) 国民健康保険特別会計</td> <td></td> <td>(7) 水道事業会計</td> <td></td> <td>(9) 八郎湖周辺清掃事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td>(16) あったか五城目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 障害認定事業特別会計</td> <td></td> <td>(4) 介護保険特別会計(保険事業勘定)</td> <td></td> <td>(8) 下水道事業会計</td> <td></td> <td>(10) 秋田県市町村総合事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td>(17) 秋田県青果物基金協会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(5) 後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11) 秋田県市町村総合事務組合(交通災害共済事業等特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(6) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12) 秋田県市町村会館管理組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13) 秋田県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14) 秋田県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) 秋田県町村電算システム共同事業組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																				一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名													(※3)	(1) 一般会計		(3) 国民健康保険特別会計		(7) 水道事業会計		(9) 八郎湖周辺清掃事務組合(一般会計)		(16) あったか五城目													(2) 障害認定事業特別会計		(4) 介護保険特別会計(保険事業勘定)		(8) 下水道事業会計		(10) 秋田県市町村総合事務組合(一般会計)		(17) 秋田県青果物基金協会															(5) 後期高齢者医療特別会計				(11) 秋田県市町村総合事務組合(交通災害共済事業等特別会計)																	(6) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)				(12) 秋田県市町村会館管理組合(一般会計)																					(13) 秋田県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																					(14) 秋田県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																					(15) 秋田県町村電算システム共同事業組合(一般会計)														
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																												
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名													(※3)																																																																																																																																																																													
(1) 一般会計		(3) 国民健康保険特別会計		(7) 水道事業会計		(9) 八郎湖周辺清掃事務組合(一般会計)		(16) あったか五城目																																																																																																																																																																																									
(2) 障害認定事業特別会計		(4) 介護保険特別会計(保険事業勘定)		(8) 下水道事業会計		(10) 秋田県市町村総合事務組合(一般会計)		(17) 秋田県青果物基金協会																																																																																																																																																																																									
		(5) 後期高齢者医療特別会計				(11) 秋田県市町村総合事務組合(交通災害共済事業等特別会計)																																																																																																																																																																																											
		(6) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)				(12) 秋田県市町村会館管理組合(一般会計)																																																																																																																																																																																											
						(13) 秋田県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																																											
						(14) 秋田県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																																																																																																																																																																																											
						(15) 秋田県町村電算システム共同事業組合(一般会計)																																																																																																																																																																																											

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、令和4年度地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比
地方税	757,239	11.4	757,239	19.9	普通税	755,112	99.7
地方譲与税	87,842	1.3	87,842	2.3	法定普通税	755,112	99.7
利子割交付金	212	0.0	212	0.0	市町村民税	285,905	37.8
配当割交付金	1,705	0.0	1,705	0.0	個人均等割	13,306	1.8
株式等譲渡所得割交付金	1,426	0.0	1,426	0.0	所得割	235,960	31.2
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	17,860	2.4
地方消費税交付金	216,342	3.3	216,342	5.7	法人税割	18,779	2.5
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	372,952	49.3
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	359,192	47.4
自動車取得税交付金	37	0.0	37	0.0	軽自動車税	32,247	4.3
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	64,008	8.5
自動車税環境性能割交付金	3,186	0.0	3,186	0.1	釧産税	-	-
法人事業税交付金	9,938	0.1	9,938	0.3	特別土地保有税	-	-
地方特例交付金等	3,664	0.1	3,664	0.1	法定外普通税	-	-
個人住民税減収補填特例交付金	3,615	0.1	3,615	0.1	目的税	2,127	0.3
新型コロナウィルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	49	0.0	49	0.0	法定目的税	2,127	0.3
地方交付税	3,017,779	45.5	2,706,335	71.2	入湯税	2,127	0.3
普通交付税	2,706,335	40.8	2,706,335	71.2	事業所税	-	-
特別交付税	311,444	4.7	-	-	都市計画税	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-
(一般財源計)	4,099,370	61.8	3,787,926	99.7	法定外目的税	-	-
交通安全対策特別交付金	658	0.0	658	0.0	旧法による税	-	-
分担金・負担金	16,341	0.2	112	0.0	合計	757,239	100.0
使用料	29,131	0.4	1,918	0.1			
手数料	26,010	0.4	-	-			
国庫支出金	856,461	12.9	-	-			
国有提供交付金(特別区調交付金)	-	-	-	-			
都道府県支出金	392,141	5.9	-	-			
財産収入	34,321	0.5	6,775	0.2			
寄附金	29,710	0.4	-	-			
繰入金	21,022	0.3	-	-			
繰越金	444,439	6.7	-	-			
諸収入	146,852	2.2	1,154	0.0			
地方債	538,400	8.1	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	37,900	0.6	-	-			
歳入合計	6,634,856	100.0	3,798,543	100.0			

区分	令和4年度	令和3年度
徴収率	98.2	91.7
現計	99.1	95.2
合計	97.8	91.5
市町村民税	99.1	95.2
純固定資産税	97.2	87.3
合計	97.8	86.9

区分	令和4年度	令和3年度
合計	874,619	25,362
下水道	175,134	7,412
上水道	31,418	1,222
工業用水道	-	-
交通	-	1,809
国民健康保険	113,229	78
その他	554,838	483

歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	74,336	1.2	-	-	74,336
総務費	789,593	12.3	23,306	-	688,511
民生費	1,694,765	26.5	-	-	991,470
衛生費	736,097	11.5	280,621	-	344,040
労働費	20,020	0.3	-	-	16
農林水産業費	328,807	5.1	-	72,940	180,318
商工費	360,799	5.6	-	10,968	276,088
土木費	511,280	8.0	-	106,189	401,452
消防費	295,815	4.6	-	38,904	271,603
教育費	587,557	9.2	-	42,860	554,975
災害復旧費	349,074	5.5	-	-	204,073
公債費	655,131	10.2	-	-	655,131
諸支出金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	6,403,274	100.0	575,788	-	4,642,013

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,571,548	40.2	1,934,683	1,862,737	48.6
人件費	1,091,842	17.1	1,029,006	1,020,651	26.6
うち職員給	644,457	10.1	605,112	-	-
扶助費	824,575	12.9	250,546	243,897	6.4
公債費	655,131	10.2	655,131	598,189	15.6
元利償還金	655,130	10.2	655,130	598,188	15.6
うち元金	633,751	9.9	633,751	576,809	15.0
うち利子	21,379	0.3	21,379	21,379	0.6
一時借入金利子	1	0.0	1	1	0.0
その他の経費	2,906,864	45.4	2,376,257	1,707,177	44.5
物件費	925,853	14.5	795,918	639,439	16.7
維持補修費	186,943	2.9	164,963	164,304	4.3
補助費等	749,763	11.7	627,830	317,629	8.3
うち一部事務組合負担金	138,300	2.2	138,083	92,087	2.4
繰出金	668,067	10.4	566,626	548,097	14.3
積立金	216,102	3.4	161,144	-	-
投資・出資金・貸付金	160,136	2.5	59,776	37,708	1.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	924,862	14.4	331,073	-	-
うち人件費	10,286	0.2	10,286	-	-
普通建設事業費	575,788	9.0	127,000	-	-
うち補助	46,999	0.7	3,347	-	-
うち単独	457,050	7.1	120,935	-	-
災害復旧事業費	349,074	5.5	204,073	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	6,403,274	100.0	4,642,013	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	6,635	6,405	230	161	21	6,153	
2 障害認定事業特別会計	4	3	1	1	1	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239					</		

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和4年度

秋田県五城目町

人口	8,369	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,350	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	214.92	km ²	実質公債費比率	9.5	%
歳入総額	6,634,866	千円	将来負担比率	52.1	%
歳出総額	6,403,274	千円			
実質収支	162,505	千円	市町村類型	H30 II-2 R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	3,814,610	千円	(年度毎)	R03 II-2 R04 II-2	
地方債現在高	6,152,605	千円			

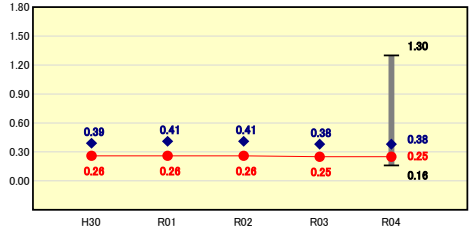


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスバイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力

財政力指数 [0.25]

類似団体内順位 53/77 全国平均 0.49 秋田県平均 0.30

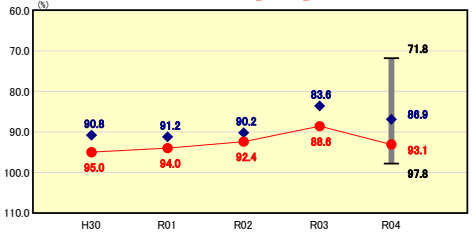


財政力指数の分析圖
 典型的な山間部の過疎地である本町は、他の地域同様、高齢化率の上昇(令和4年12月末高齢化率48.7%)、少子化(令和4年度出生数17人)の問題が続いている。この為、歳入では町税を中心とした自主財源が減少、歳出では地理的要因からくる道路等インフラの維持管理、民間バス会社の路線撤退による公共交通の整備、福祉関係施策への支出も増加しており、財政力指数については、ここ5年間横ばいで、類似団体の平均を上回っている状況となっている。
 そんな中、「ふるさと納税」は、250万円付近で伸び悩んでいるものの、新規事業の財源として期待できるものであり、寄附金を活用した新たな商品開発や事業により付加価値を高め、寄附金の上昇と移住者を増加させる可能性があると考えている。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [93.1%]

類似団体内順位 63/77 全国平均 92.2 秋田県平均 92.0

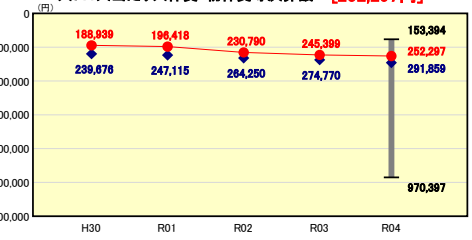


経常収支比率の分析圖
 令和4年度の経常収支比率は93.1%(前年度比4.5%増)となり、令和2年度以前の数値に戻った状況となっている。数値が悪化したことについては、分母(歳入)の71百万円減となった要因としては、①普通交付税11百万円減、②臨時財政対策債64百万円減などがある。分子(歳出)の106百万円増となった要因としては、①電気代の高騰などによる物件費の38百万円増、②普通交付税の積蓄率の変更で、算入除蓄費(経常的経費)が増になったことなどによる維持補修費の72百万円増、③特別会計への繰入金など495百万円増がある。結果として、分子・分母両方が比率悪化の要因となっている。なお、類似団体の平均も前年度比3.3%増となっており、更なる経常収支比率の改善のためには、滞納処分等による地方税収入の確保や徹底した事務事業の検証作業を行い、不要不急な事業の廃止、事業費の縮減を断行し歳出抑制型の財政構造改革を更に進めていく必要がある。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [252,297円]

類似団体内順位 31/77 全国平均 160,081 秋田県平均 194,904

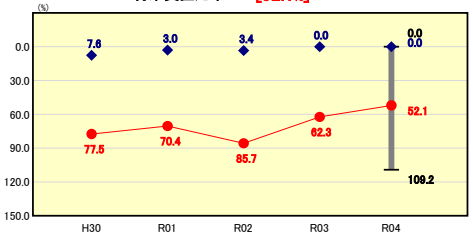


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析圖
 人件費については、職員(再任用含む)33百万円減、会計年度職員(パートタイム)7百万円増などにより前年度と比較して24百万円(2.2%減)の減となっている。これは、新型コロナウイルスワクチン接種業務などの減少に伴う職員手当の減、また、職員数の減少などによる影響が大きい。維持補修費も、除雪費の減などにより、前年比14百万円(7.2%減)の減となっている。
 物件費については、雀籠運動公園緑地管理費の増、電気料の値上がりなどで各施設の光熱水費が増などにより、前年比15百万円(1.7%増)の増。以上、全体として決算額は減少しているものの、それ以上に人口の減(248人減)が大きいため1人当たりの経費が増加した。

将来負担の状況

将来負担比率 [52.1%]

類似団体内順位 67/77 全国平均 8.8 秋田県平均 55.6

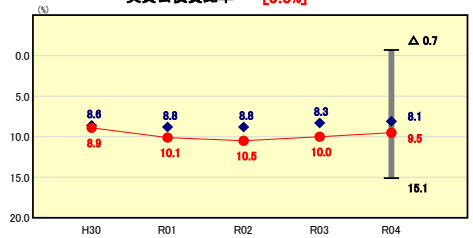


将来負担比率の分析圖
 将来負担比率は、令和元年~2年度に実施した小学校改築事業に伴い地方債残高の増加及び充当可能基金残高の減少により、令和2年度は85.7%と高い数値にあった。令和3年度から地方債の繰上償還や基金の積み増しに取り組んだことで、令和4年度については、特に充当可能基金残高が増加(前年度比+161百万円、9.8%増)したことなどから、10.2%改善、52.1%となった。なお、類似団体と比べてかなりの開きがある。
 今後は、公共施設等総合管理計画の実行に備え、計画的に基金を積立て充当可能財源を確保する一方、地方債の新規発行にあたっては事業内容の精査、交付税算入の有利な地方債の発行に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [9.5%]

類似団体内順位 51/77 全国平均 5.5 秋田県平均 8.9

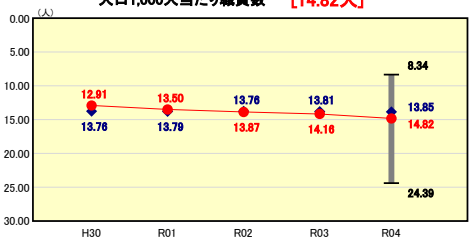


実質公債費比率の分析圖
 実質公債費負担比率は、前年度に比べ、0.5%改善、9.5%となったが、類似団体の平均よりは数値が高い状況が続いている。数値改善の主な要因として、比率の分子において総額が13百万円改善したほか、分母において臨時財政対策債発行可能額の減(▲103百万円)や普通交付税額の減(▲11百万円)があげられる。
 今後は、令和元年以降に実施してきた事業に係る地方債の元金償還が始まり、公債費が増加する見込みであることから、事業内容を精査し地方債発行の抑制を図るとともに、交付税算入の有利な地方債の発行に努める。

定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [14.82人]

類似団体内順位 49/77 全国平均 8.25 秋田県平均 9.86

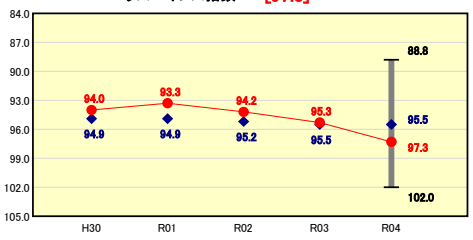


人口1,000人当たり職員数の分析圖
 昨年度と比較し職員数は2人増(令和5年4月1日現在124人)、尚且つ人口減少の影響もあるため1,000人当たり職員数は0.66人増加し、類似団体平均を上回った状態となっている。
 町が単独で消防署を設置しているため消防職員の定数確保が必要であり、全体の定員管理の課題となっているものの、今後も行政サービスが低下することのないよう職員の資質向上を図りながら職員定員適正化計画に基づく定数管理に努める。

給与水準(国との比較)

ラスバイレス指数 [97.3]

類似団体内順位 59/77 全国市平均 98.7 全国町村平均 96.3



ラスバイレス指数の分析圖
 本町職員の給与水準は、全国的な処遇の改善の動きに沿って、特に新規採用者や若い世代においてラスバイレス指数が高い傾向にある。これらの数値に引上げられるかたちで、ここ数年は類似団体と同水準の数値が続いていた。令和4年度は、前年度の退職者が多く、更にその傾向が強くなったため、数値が上昇し類似団体平均以上の数値となった。
 全国町村平均以上となったが、この水準においても住民の理解が得られるよう、研修等により職員の資質向上を図ることで、適正な給与水準の維持に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

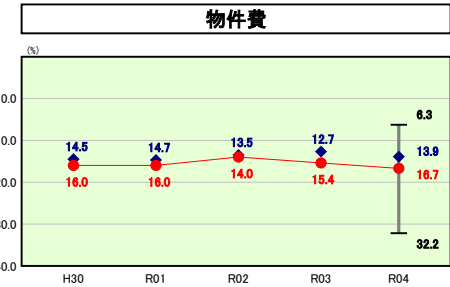
秋田県五城目町

経常収支比率の分析

人口	8,369	人(R5.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	8,350	人(R5.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	214.92	km ²	実収公債費比率	9.5	%
歳入総額	6,634,856	千円	将来負担比率	52.1	%
歳出総額	6,403,274	千円	市町村類型	H30 II-2 R01 II-2 R02 II-2	
実収収支	162,505	千円	(年度毎)	R03 II-2 R04 II-2	
標準財政規模	3,814,610	千円			
地方債現在高	6,152,605	千円			

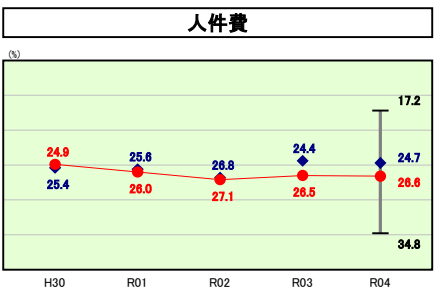


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



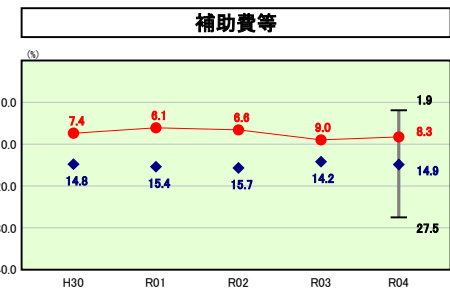
物件費の分析欄

物件費については、「物件費に充当した一般財源」が前年比で38百万円(6.3%増)と増となっている。これは、分母の増加要因である①普通交付税11百万円減、②臨時財政対策債64百万円減などの影響とともに比率を上昇させており、比率は前年比1.3%増加した。
 いずれにしても物件費の増加要因は、省館運動公園緑地管理費の増、電気料の値上がりなどで光熱水費の増などによる経費の増加が主なもの。今後は、町有施設全般について公共施設等総合管理計画に基づき、解体を含めた見直し等を行い物件費の抑制に努める。



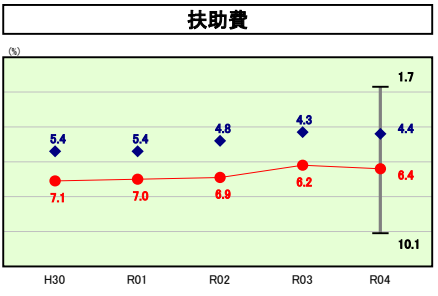
人件費の分析欄

人件費については、新型コロナウイルスワクチン接種業務などの減に伴う職員手当の減、また、年度途中での職員の退職などによる影響が大きく、「人件費に充当した一般財源」が前年比で13百万円(1.3%減)となった。しかしながら、比率の分母における①普通交付税11百万円減、②臨時財政対策債64百万円減などの影響が大きく、比率は前年比0.1%増加した。今後は、定年延長を控えていることから、職員定員適正化計画に基づき、適正な管理を図ることで人件費の抑制に努める。



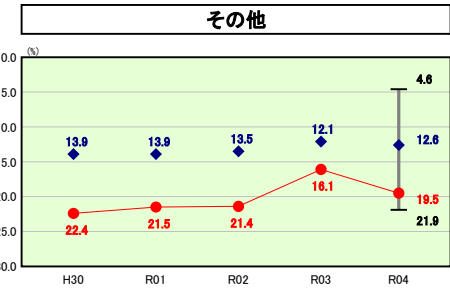
補助費等の分析欄

補助費等については、「補助費等に充当した一般財源」が前年比で33百万円(9.5%減)の減となっている。これらの、補助費等の減少は、町地域公共交通協議会関係の負担金(計画の策定が終了)の減、下水道事業への補助金が減少したことが主な要因となっている。
 現在、子育て世帯の負担を減らす機運が高くなっており、今後、補助費等は増加していくものと考えられる。



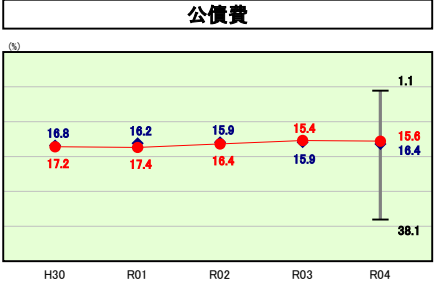
扶助費の分析欄

扶助費については、「扶助費に充当した一般財源」が前年度ほぼ同数値であるが、比率の分母における①普通交付税11百万円減、②臨時財政対策債64百万円減などの影響で0.2%増となった。
 高齢化が進む中、高齢者・障害者へのサービス拡大や利用回数が増える扶助費の増加が想定されることから、介護予防事業を推進することで扶助費の抑制に努める。



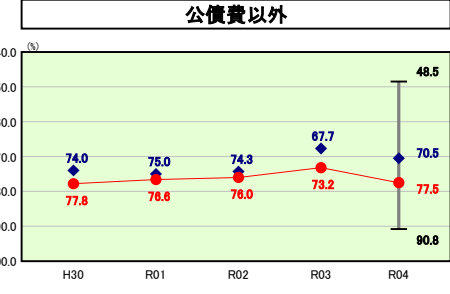
その他の分析欄

その他については、まず「維持補修費に充当した一般財源」が前年比で72百万円(7.9%増)の増になったこと、このうち最も大きな要因としては、普通交付税の制度上、積雪度の見直しに伴い、除排雪経費について臨時的経費から経常的経費として分類する部分が増えたことによる。もう一つとして、「繰入金に充当した一般財源」が前年比で45百万円(9.0%増)の増になったこと、これは介護保険、後期高齢、国保特別会計への繰入金が増になったことが要因となっている。今後は、介護予防や健康寿命を延ばす施策を推進することにより、介護・医療費の減少に努める。



公債費の分析欄

公債費については、「公債費に充当した一般財源」が前年比で5百万円(0.8%減)の減だが、比率の分母における①普通交付税11百万円減、②臨時財政対策債64百万円減などの影響で0.2%増となった。
 今後は、令和2年度完成の小学校改築事業・令和4年度完成の火葬場増改築事業のために借り入れた地方債の元金償還が始まることに伴い、数年間増加していくことが想定されることから、施設の更新にあたっては、公共施設等総合管理計画に基づき施設統合を進め、計画的に公債費の抑制に努める。



公債費以外の分析欄

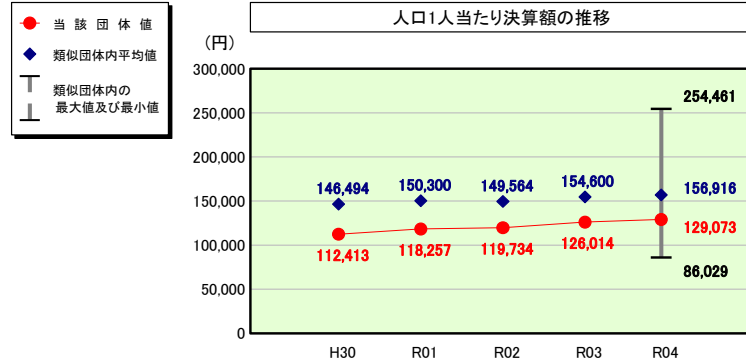
類似団体平均と比較して上回っている要因は、主に人件費、扶助費、物件費、維持補修費に係る経常収支比率の高さである。
 扶助費の抑制には予防事業を推進することで抑制を図る。物件費・維持補修費については、町有施設全般について公共施設等総合管理計画に基づき、解体や統廃合を含めた見直し等を行い抑制に努める。また、公共施設で更なる物件費の抑制に繋げるため、再生可能エネルギーなどの導入を検討する。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

秋田県五城目町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

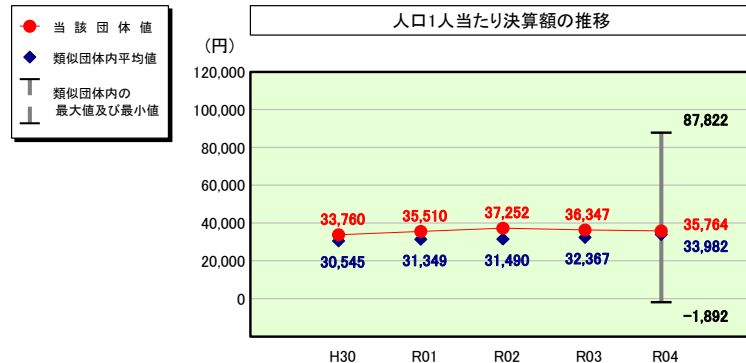
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,091,842	130,463	139,150	▲ 6.2
一部事務組合負担金(補助費等)	4,094	489	19,663	▲ 97.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	14,225	1,700	1,097	55.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	63,217	7,554	5,184	45.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	10,286	1,229	3,143	▲ 60.9
▲退職金	▲ 103,454	▲ 12,362	▲ 11,320	9.2
合計	1,080,210	129,073	156,916	▲ 17.7

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	14.82	13.85	0.97
ラスパイレース指数	97.3	95.5	1.8

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

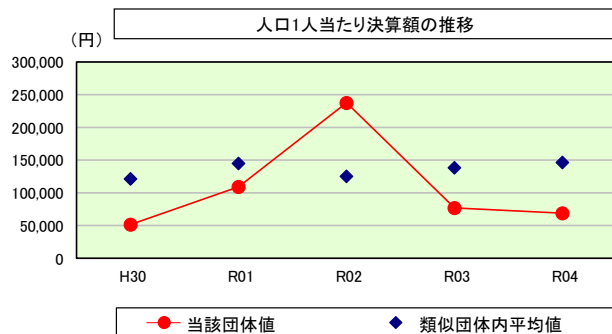


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	598,188	71,477	83,132	▲ 14.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの(年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	176,798	21,125	18,852	12.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	14,564	1,740	4,344	▲ 59.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	350	42	1,642	▲ 97.4
一時借入金利子(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	19	-
▲特定財源の額	-	-	▲ 4,399	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 490,589	▲ 58,620	▲ 69,608	▲ 15.8
合計	299,311	35,764	33,982	5.2

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

年度	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額			
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)
H30	478,697	51,495	36.6	121,449	4.6
		44,183	42.1	62,922	2.2
R01	987,130	109,268	112.2	145,139	19.5
		51,949	17.6	83,762	33.1
R02	2,091,217	237,665	117.5	125,391	▲ 13.6
		1,008,620	114,629	120.7	68,516
R03	663,483	76,997	▲ 67.6	138,402	10.4
		374,459	43,456	▲ 62.1	70,652
R04	575,788	68,800	▲ 10.6	146,367	5.8
		457,050	54,612	25.7	79,441
過去5年間平均	959,263	108,845	37.6	135,350	5.3
		544,032	61,766	28.8	73,059

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

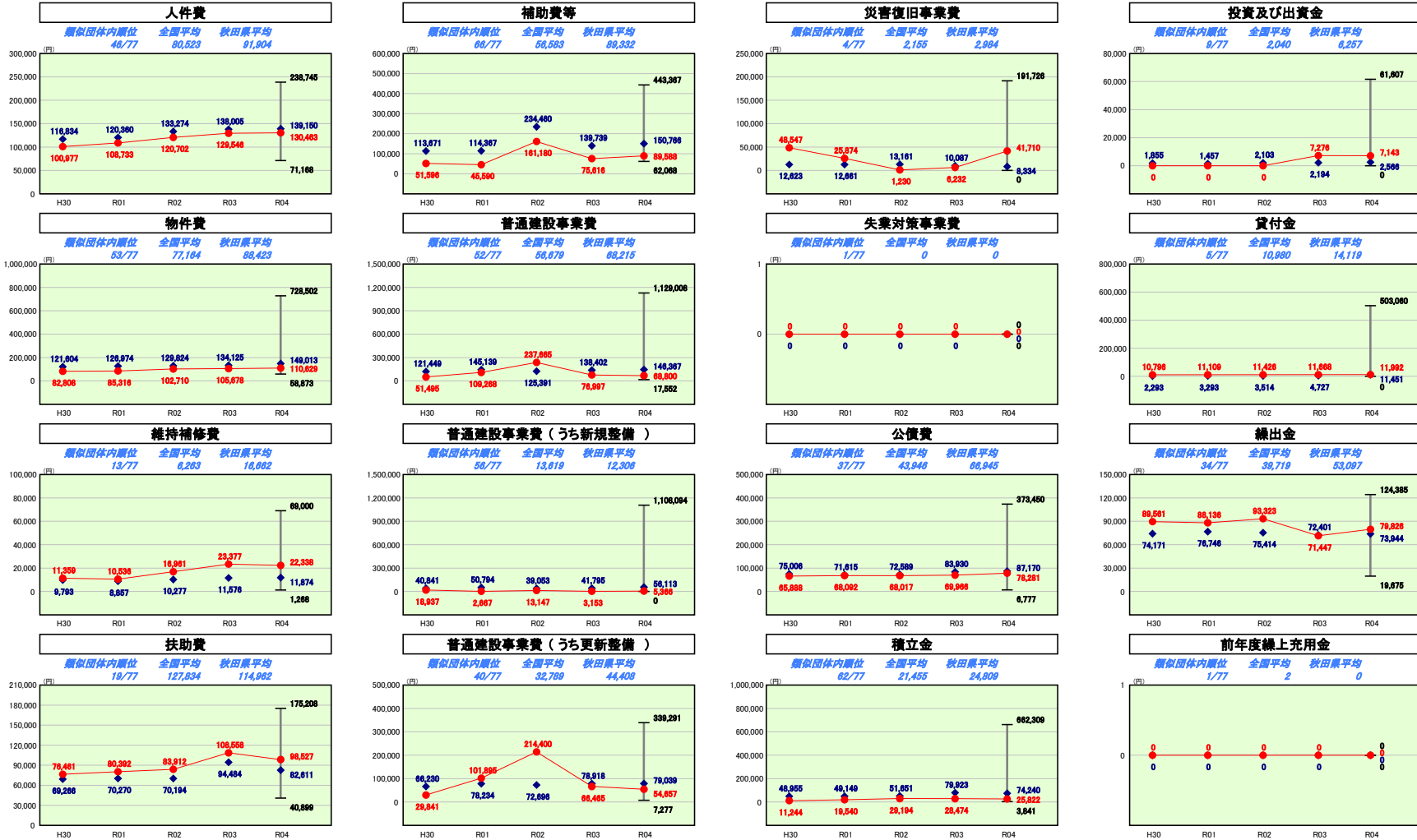
令和4年度

秋田県五城目町

人口	8,369人(05.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	8,350人(05.1.1現在)	通給実収赤字比率	-%
面積	214.92km ²	実収公債費比率	9.5%
歳入総額	6,634,856千円	将来負担比率	52.1%
歳出総額	6,403,274千円	市町村類型	H30 II-2 R01 II-2 R02 II-2
実収取支	162,505千円	(年度毎)	R03 II-2 R04 II-2
標準財政規模	3,814,610千円		
地方債現在高	6,152,605千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

歳出決算総額は住民一人当たり765,118円となっている。
 前年度と比べて一人当たりのコストの増加幅が大きいのは、災害復旧事業費である。災害復旧事業費の一人当たりのコストは41,710円で前年度比35,478円(351.7%増)の大幅増となっている。これは、令和4年8月大雨災害の影響が大きく、本町にとっては過去に例をみない大きな被害が発生した。
 一人当たりのコストの減少幅が大きいのは、普通建設事業費(うち更新整備)、扶助費である。普通建設事業費(うち更新整備)の一人当たりコストは、54,657円で前年度比11,808円の減となっている。これは、旧小学校校舎解体事業の省減、埋立処分場改修(機械)事業の省減などの理由によるものである。扶助費の一人当たりのコストは、98,527円で前年度比10,031円の減となっている。これは、コロナ禍の国の施策である生活支援臨時特別給付金事業、子育て世帯臨時特別給付金事業の縮小が大きな理由である。
 今後は、事務事業の見直し等により歳出削減を図りつつ、不測の事態に備え財政調整基金等の計画的な積み立てを実施することで、一人当たりのコストの緊急的な増加に対応できるような努め。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

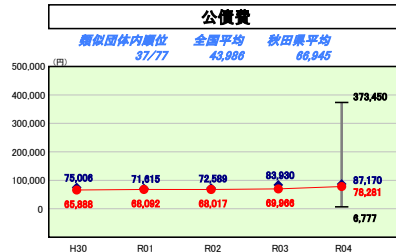
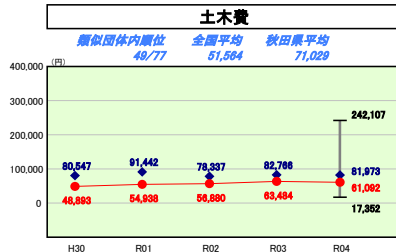
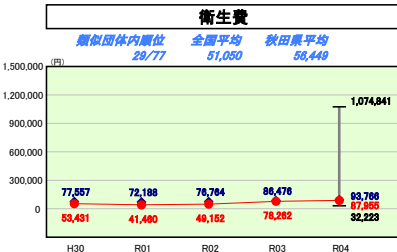
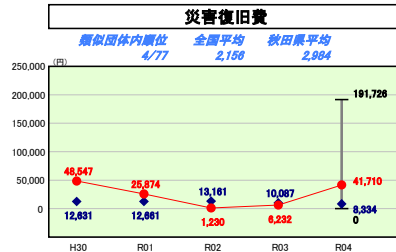
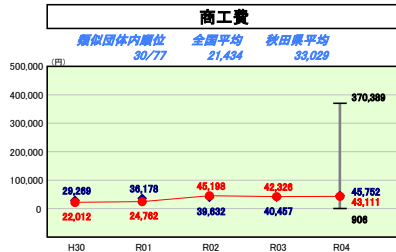
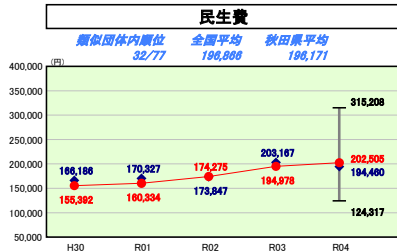
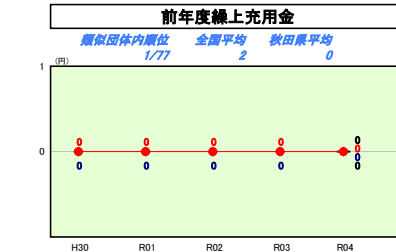
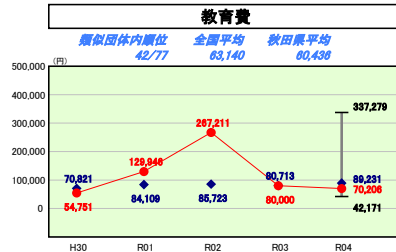
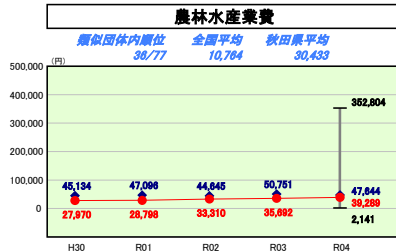
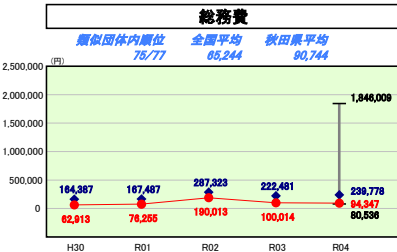
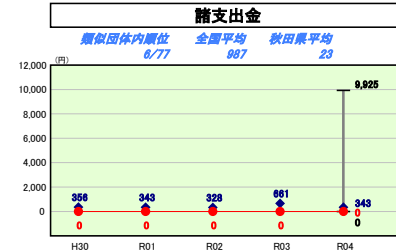
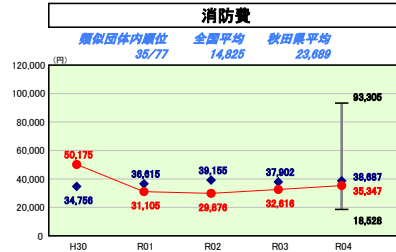
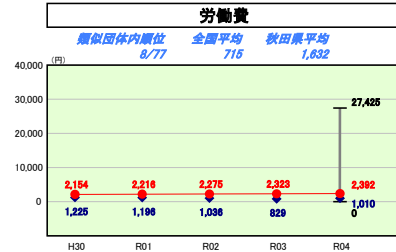
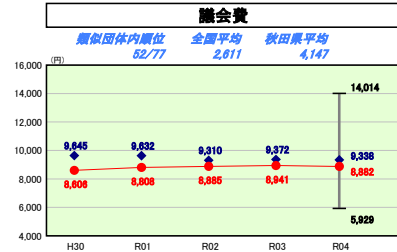
令和4年度

秋田県五城目町

人口	8,369人(05.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	8,350人(05.1.1現在)	通算実質赤字比率	-%
面積	214.92km ²	実質公債費比率	9.5%
歳入総額	6,634,856千円	将来負担比率	52.1%
歳出総額	6,403,274千円	市町村類型	H30 II-2 R01 II-2 R02 II-2
実質収支	162,505千円	(年度毎)	R03 II-2 R04 II-2
標準財政規模	3,814,610千円		
地方債現在高	6,152,605千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析

前年度より住民一人当たりのコストの増加幅が大きいのは、災害復旧費と衛生費である。災害復旧費の一人当たりのコストは41,710円で前年度比35,478円(351.7%増)の大幅増となっている。これは、令和4年8月大雨災害の影響が大きく、本町にとっては過去に例をみない大きな被害が発生した。衛生費の一人当たりのコストは、87,955円で前年度比9,693円の増となっており、これは、火葬場増設事業(令和3~4年度)・埋立処分場増設(機械)事業の影響が大きい。

逆に、一人当たりのコストの減少幅が大きいのは、教育費と総務費である。教育費の一人当たりのコストは70,206円で前年度比9,794円の減となっており、これは、旧小学校校舎解体事業の削減などの理由によるものである。総務費の一人当たりのコストは94,347円で前年度比5,667円の減となっており、これは、財政調整基金積立金の減、電算業務費の減などによる影響である。

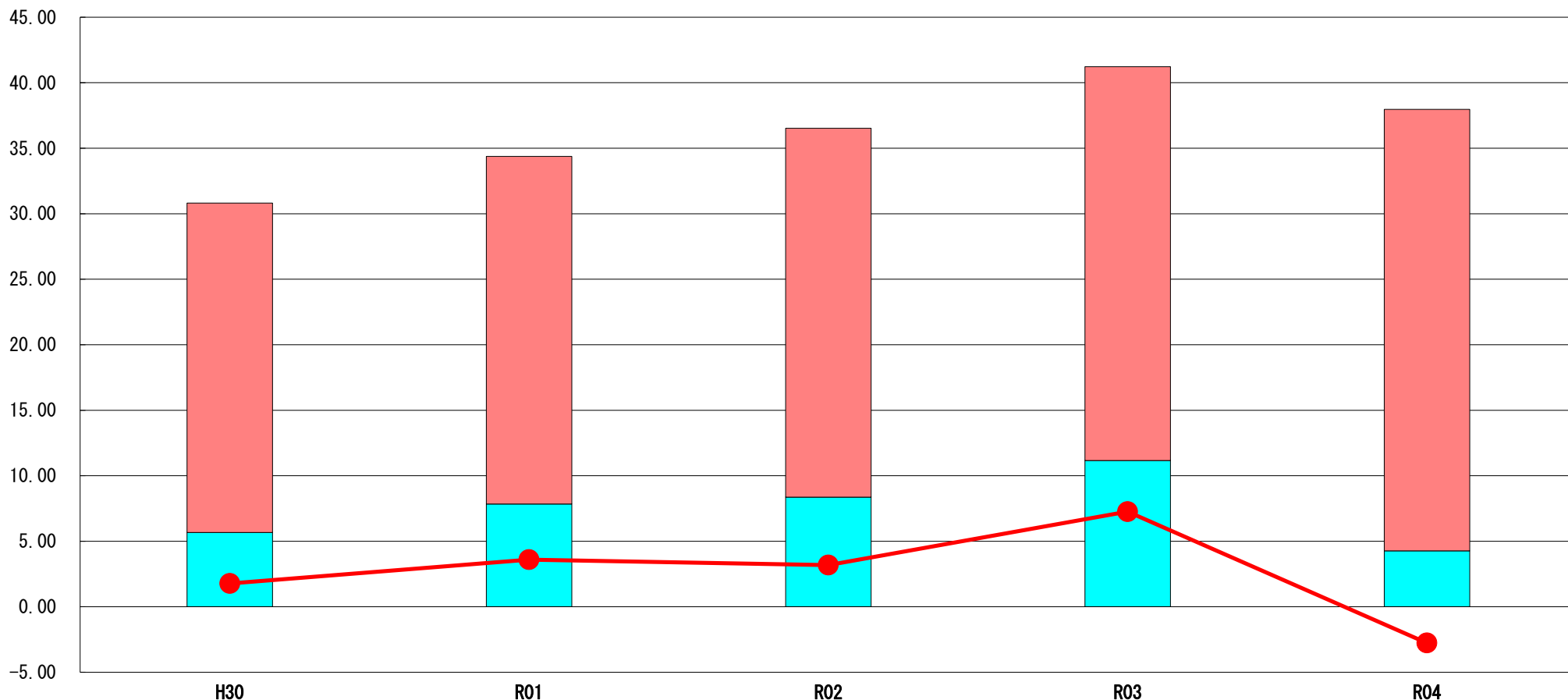
令和5年度は、備蓄倉庫建設事業・防災行政無線更新事業などがあることから民生費は増加、また、橋梁補修工事が本格化することから土木費の増加が見込まれる。また、今後、小学校改築関係事業や火葬場増設事業の地方債の償還に伴う公債費の増加も予想される。いずれにしても、引き続き施設の適切な維持管理、事務事業の見直し等により歳出抑制に努める。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和4年度

秋田県五城目町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		25.14	26.54	28.15	30.07	33.71
 実質収支額		5.67	7.84	8.37	11.16	4.26
 実質単年度収支		1.77	3.59	3.18	7.26	▲ 2.77

分析欄

令和4年度は、令和3年度同様に普通交付税の追加配分などで実質収支が約1億6千万円（前年度比62.7%減）となったこと、また、財政調整基金については、大きな災害があったにも関わらず取崩しもなく且つ、1億1千万円ほど積み増すことができた。これは、前年度からの繰越金（約4億4千万円）が大きかったと考えており、そのため実質単年度収支は赤字となった。

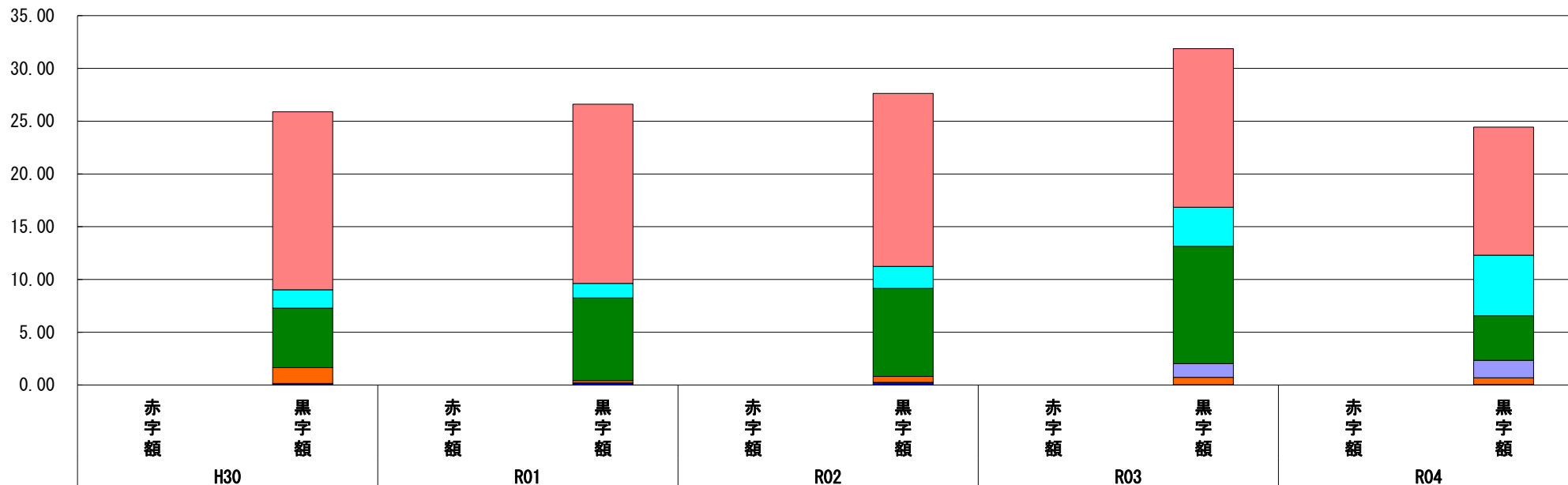
今後は町税の徴収強化による自主財源の確保、ふるさと納税や起業の促進を図り、更には事業の精査による歳出抑制に努め、財政調整基金に頼らない予算編成と実質単年度収支の黒字化を目指す。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和4年度

秋田県五城目町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H30	R01	R02	R03	R04
水道事業会計		16.87	16.98	16.39	15.02	12.14
介護保険特別会計（保険事業勘定）		1.74	1.38	2.09	3.70	5.73
一般会計		5.64	7.81	8.34	11.13	4.23
下水道事業会計		-	-	-	1.30	1.65
国民健康保険特別会計		1.49	0.24	0.56	0.70	0.66
障害認定事業特別会計		0.01	0.02	0.01	0.02	0.02
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.12	0.17	0.24	-	-

分析欄

全ての会計において実質収支は黒字である。

水道事業会計については、一般会計からの基準内繰入で事業を実施しているが、近年の決算では収益的収支で純損失を計上しており、今後は資産管理の見直しを分析し、水道ビジョンの作成、人口減少による水道使用料の減収を是正するため、料金改定を検討する。

国民健康保険特別会計については、一般会計からの基準内繰入で事業を実施している。近年はコロナ禍の影響による受診控えもあり決算額が若干減少傾向にあるが、いずれにしても国民健康保険財政調整基金の残高が減少しており事業動向を踏まえて税率改正の検討を要する。

介護保険特別会計（保険事業勘定）においては、令和4年度支出額が減少したが、高齢化の進行に伴い医療費とともに、介護費用についても増加する人口構成となっているため、介護予防事業に力を入れ介護費用の増加を抑える。

下水道事業会計については、令和3年度から公営企業会計となり事業の運営にあたっている。なお、生活排水処理事業については、各市町村の事業の負担軽減などに寄与するため、県や県内市町村が広域的に連携し、自治体の事務を補完する官民出資会社を設立した。職員数の減少と業務量の増加に対する対策として、また、人口減少による事業の採算性の確保について期待が高い。

いずれにしても、各会計において、保険料・使用料等の見直しも含め健全な財政運営に努めることで、一般会計の負担軽減を図る。

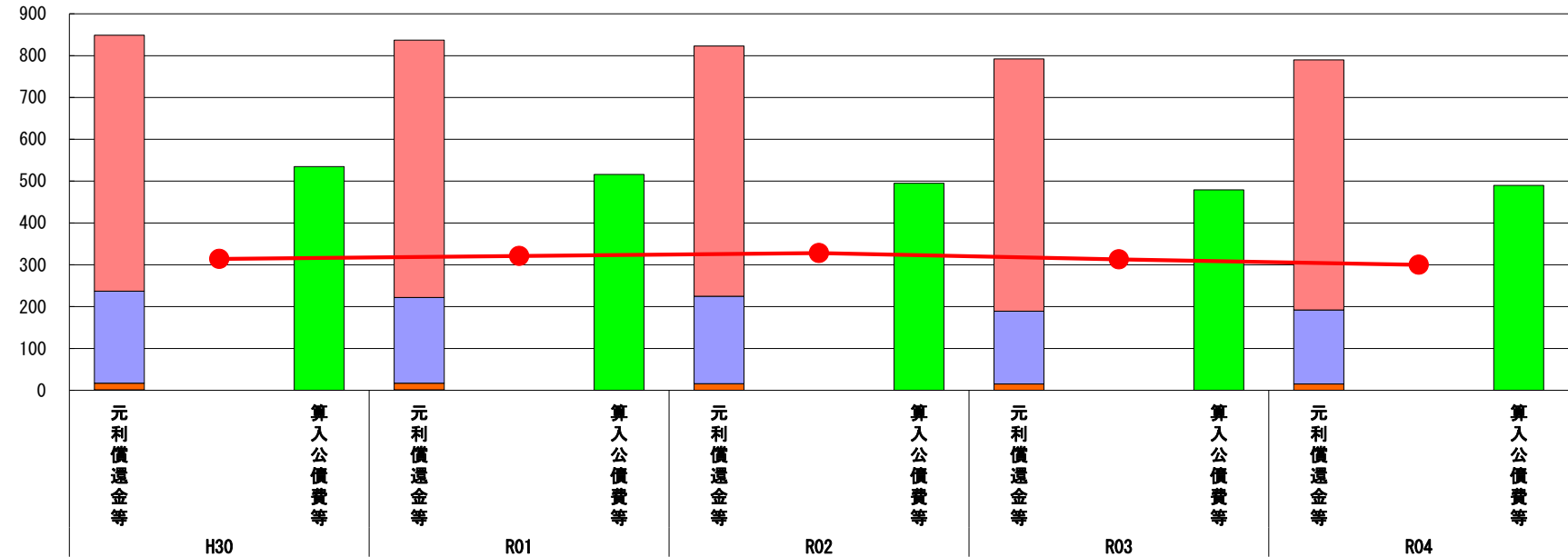
※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

秋田県五城目町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
元利償還金等(A)	元利償還金		612	615	598	603	598
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		220	205	209	174	177
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		16	16	16	15	15
	債務負担行為に基づく支出額		1	1	0	0	0
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		535	516	495	479	490
(A)-(B)	実質公債費比率の分子		314	321	328	313	300

分析欄

元利償還金は前年度に比べて5百万円（0.8%減）の減となっているが、今後は、令和元～2年度事業で実施した小学校改築事業（地方債総額約10億円）、令和3～4年度事業で実施する火葬場改修事業（地方債総額約3億6千万円）の、元金償還が始まる令和5年から、各年度の実質公債費比率（分子）の数値を押し上げると予想される。

今後とも地方債の新規発行にあたっては、事業内容の精査や交付税算入率の有利な地方債を選定することで、実質公債費比率の抑制に努める。

※1 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※2 減債基金積立不足算定額=(C)×(1-(D)/(E))

(参考)

減債基金積立状況等(注)		年度	H30	R01	R02	R03	R04
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)						
	前年度末減債基金残高(D)						
	前年度末減債基金積立相当額(E)						

分析欄

本町では満期一括償還の地方債の発行を受けていないため、減債基金残高と減債基金積立相当額に該当する数値はありません。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

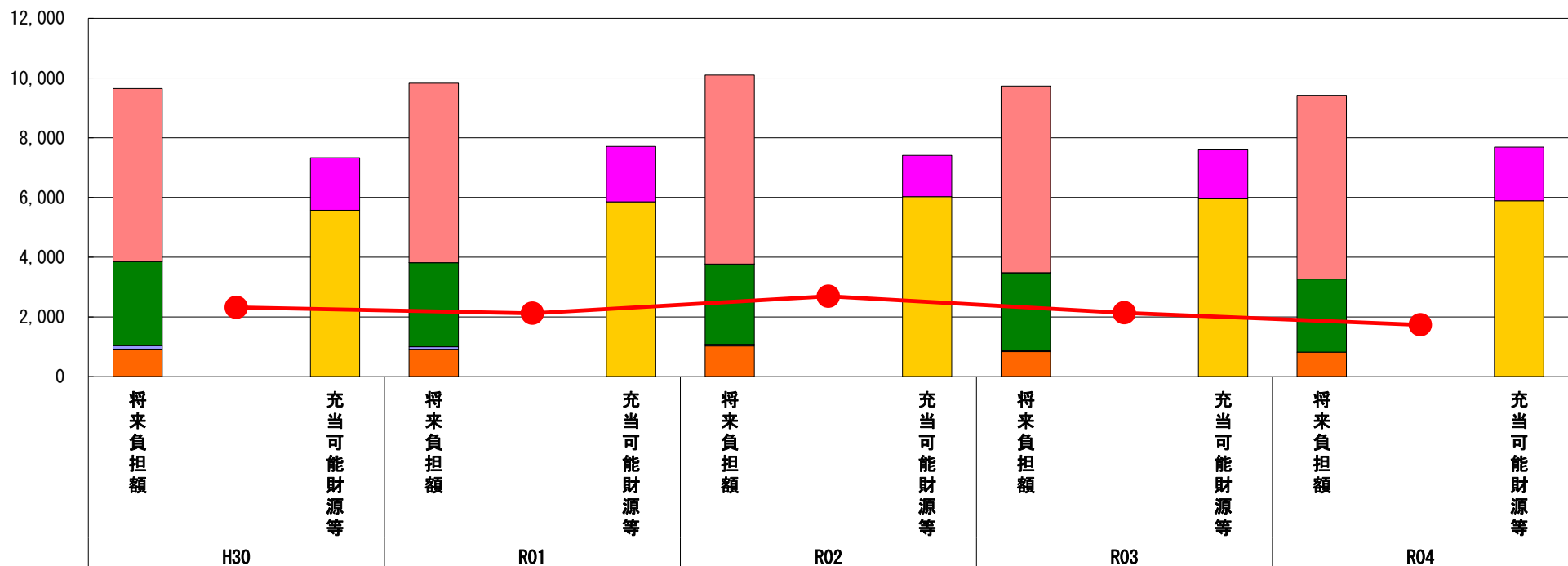
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

秋田県五城目町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		5,794	6,010	6,328	6,248	6,153
	債務負担行為に基づく支出予定額		3	2	2	1	1
	公営企業債等繰入見込額		2,816	2,814	2,689	2,614	2,449
	組合等負担等見込額		113	84	55	27	-
	退職手当負担見込額		924	918	1,025	840	820
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,758	1,855	1,380	1,638
充当可能特定歳入			0	-	-	-	-
基準財政需要額算入見込額			5,574	5,855	6,029	5,957	5,891
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,317	2,120	2,691	2,136	1,732

分析欄

令和元～2年度事業で実施した小学校改築事業による地方債残高が増、加えて教育施設整備基金の取崩しによる充当可能基金の減によって、令和2年度将来負担比率（分子）が増加する要因となった。

しかしながら、令和2年度の決算剰余金（約3億）、更には令和3年度の決算剰余金（約4億4千万円）などにより基金の積増しや繰上げ償還を実施し、過去の大きな事業に係る地方債の償還終了により、将来負担比率の分子要因は減少してきている。

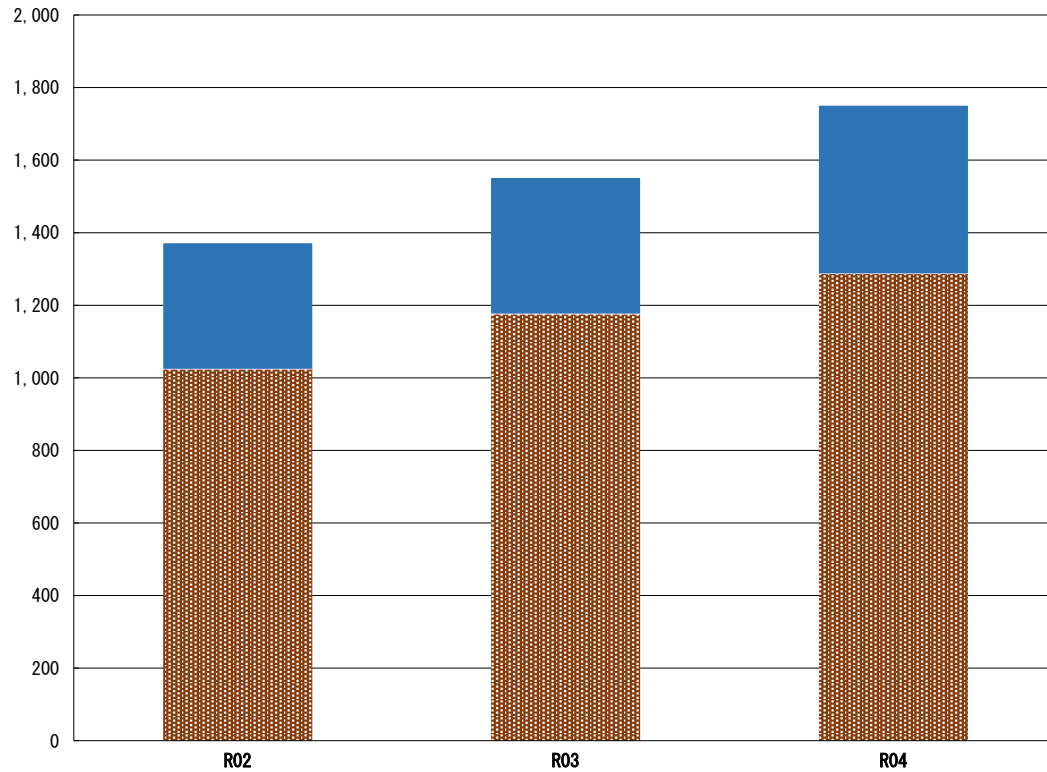
今後は、令和5年度事業で実施する備蓄倉庫建設事業、埋立処分場改修（電気）事業による影響で増加することも予想される。

引き続き地方債の発行を抑えつつ、新規発行にあたっては事業内容の精査や基準財政需要額算入率の有利な地方債の発行に努めるとともに、公共施設等総合管理計画に基づき、各施設の維持管理費などの歳出削減や充当可能基金の積立に努め、将来負担比率の改善を目指す。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R02	R03	R04
財政調整基金		1,023	1,175	1,286
減債基金		2	2	2
その他特定目的基金		346	374	462
	(当該欄に積立額が多い上位5基金の基金名を入力して下さい(R04年度末現在))			
	(当該欄に積立額が多い上位5基金の基金名を入力して下さい(R04年度末現在))			
	(当該欄に積立額が多い上位5基金の基金名を入力して下さい(R04年度末現在))			
	(当該欄に積立額が多い上位5基金の基金名を入力して下さい(R04年度末現在))			
	(当該欄に積立額が多い上位5基金の基金名を入力して下さい(R04年度末現在))			
基金残高合計		1,371	1,550	1,750

令和4年度

秋田県五城目町

基金全体

(増減理由)

財政調整基金及び公共施設等総合管理基金（通常分）、新設の学校給食費無償化基金に前年度決算剰余金を積み立てたこと、また、過疎債ソフト枠を活用し公共施設等総合管理基金（過疎債ソフト分）を30百万円積み立てたこと等により、基金全体としては残高1,750百万円となり、前年度比200百万円の増となった。

(今後の方針)

令和4年度については、大きな災害あったものの前年度からの決算剰余金や特別交付税の増加などにより、財政調整基金を取崩すことがなかったが、今後、公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合やそれに伴う解体、更には昭和50年代に建築した建物などの老朽化に対応するため、公共施設等総合管理基金などの取崩しが必要になってくると考えており、年度間の財源の平準化のためにも基金積立を活用したいと考えている。また、災害や急激な経済状況の変化に対応するため財政調整基金の増加にも努めたい。

財政調整基金

(増減理由)

大きな災害あったものの、取り崩しを実施せず前年度決算剰余金を積み立てたこと等により、残高1,286百万円となり、前年度比111百万円の増となった。

(今後の方針)

本町では、災害などの不測の事態に備えるため、基金の積立目安を10億円（標準財政規模にすると約25.0%）として積み増してきた。今後は、例えば災害に備え、特定目的基金である災害対策基金へ計画的に積み増すなど、より具体的な備えを図っていくことも検討する。

減債基金

(増減理由)

基金運用利息を積立しているものの、運用金額が少額なことから前年度と同額となっている。

(今後の方針)

今後も適正な基金運用に努める。

その他特定目的基金

(基金の使途)

公共施設等総合管理基金：公共施設等の改修及び除却の実施。
 企業立地推進基金：町が誘致する企業、又は町長が指定する企業の立地促進。
 ふるさと愛郷基金：五城目町に寄せられる寄附（ふるさと納税）を通じて、多様な人々の参加による豊かで暮らしやすいふるさとづくりを目指す。
 森林環境譲与税基金：森林整備に関する事業や整備を担うべき人材の育成及び確保、木材利用の促進等を実施。
 中小企業経営安定支援基金：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、秋田県経営安定化資金を利用している中小企業に対し、4、5年目の利子補給を実施する。
 学校給食費無償化基金：小中学校の児童・生徒を持つ親の経済的負担の軽減。※令和4年度に新設。

(増減理由)

公共施設等総合管理基金：前年度決算剰余金20百万円、過疎債ソフト枠30百万円を積み立てたことにより50百万円増。
 企業立地推進基金：百万円単位の増減はなし。
 ふるさと愛郷基金：令和4年2月から令和5年1月までに納入のあった「ふるさと納税寄附金」の約50%を積み立てたことにより10百万円増。
 森林環境譲与税基金：財源となる森林環境譲与税については、今後も林道補修事業などの林業振興に資する事業に充当し不足の場合は基金の取崩しで対応する予定。
 中小企業経営安定支援基金：百万円単位の増減はなし。
 学校給食費無償化基金：増減なし。

(今後の方針)

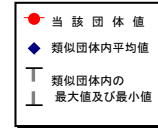
公共施設等総合管理基金：今後増加する公共施設の改修費、施設統廃合による解体費の財源として、必要に応じて取崩す予定。また、決算剰余金については、財政調整基金だけでなく、将来の施設管理の支出に備えるためにも本基金へも積立を実施する。
 企業立地推進基金：企業の誘致活動において必要に応じて取崩し、活用する。
 ふるさと愛郷基金：毎年度、ふるさと納税寄附金の50%を積立てる予定。また、充当事業について検討する。
 森林環境譲与税基金：財源となる森林環境譲与税については、今後も林道補修事業などの林業振興に資する事業に充当し不足の場合は基金の取崩しで対応する予定。
 中小企業経営安定支援基金：令和5～7年度に利子補給金の財源として、取崩しを実施していく予定。
 学校給食費無償化基金：令和5年度から給食費支援として毎年必要額を取崩しし、また、年次計画に沿って前年度決算剰余金を積み立てる予定。

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

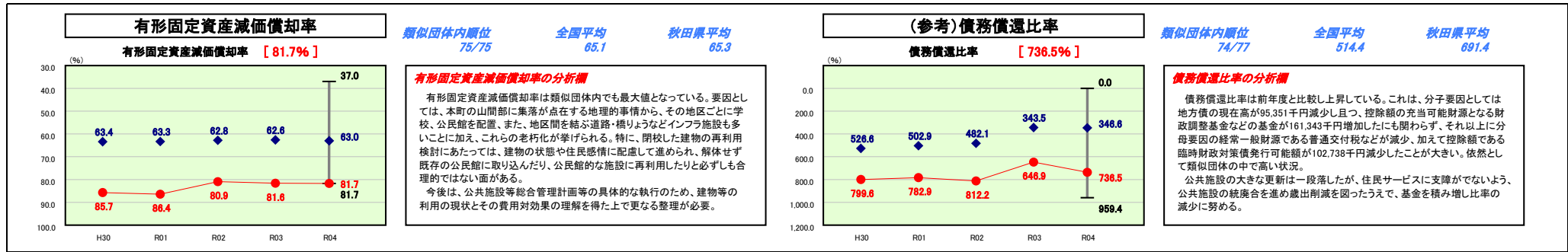
令和4年度

秋田県五城目町

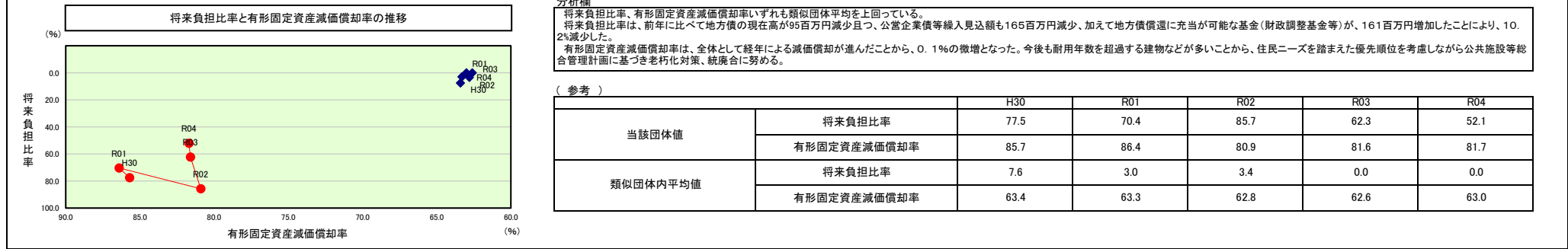
人口	8,369人	(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,350人	(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	214.92	k㎡	実質公債費比率	9.5	%
歳入総額	6,634,856	千円	将来負担比率	52.1	%
歳出総額	6,403,274	千円	市町村類型	H30 II-2 R01 II-2 R02 II-2	
実質収支	162,505	千円	(年度毎)	R03 II-2 R04 II-2	
標準財政規模	3,814,610	千円			
地方債現在高	6,152,605	千円			



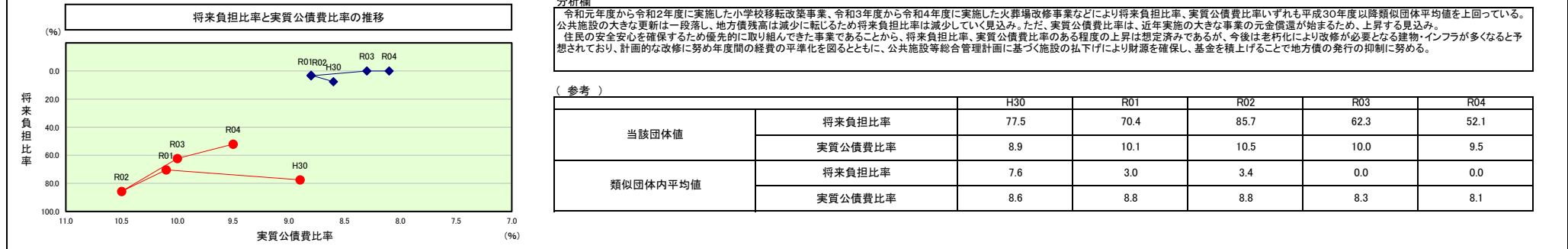
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費比率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和4年度

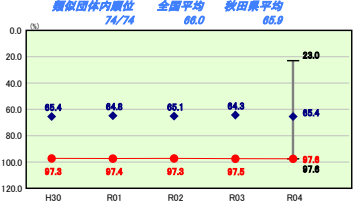
秋田県五城目町

人口	8,369人(05.1.1現在)	実業赤字比率	-%
うち日本人	8,360人(05.1.1現在)	通商実業赤字比率	-%
面積	214.92km ²	実業公債費比率	9.5%
歳入総額	6,634,856千円	将来負担比率	62.1%
歳出総額	6,403,274千円	市町村類型	H30 II-2 R01 II-2 R02 II-2
実収支	162,506千円	(年度毎)	R03 II-2 R04 II-2
標準財政規模	3,814,610千円		
地方債残高	6,152,956千円		

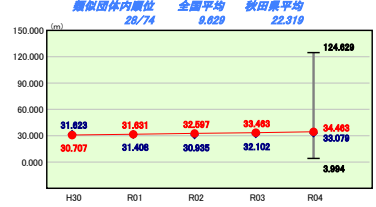


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。

【道路】有形固定資産減価償却率



【道路】一人当たり延長



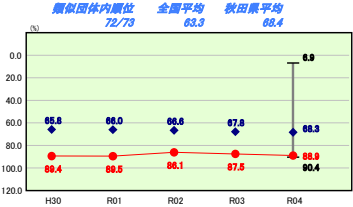
【認定こども園・幼稚園・保育所】有形固定資産減価償却率



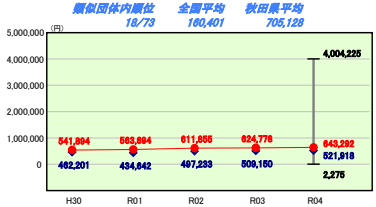
【認定こども園・幼稚園・保育所】一人当たり面積



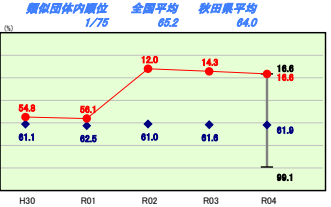
【橋りょう・トンネル】有形固定資産減価償却率



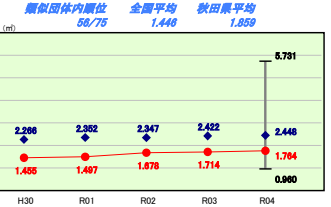
【橋りょう・トンネル】一人当たり有形固定資産(償却資産)額



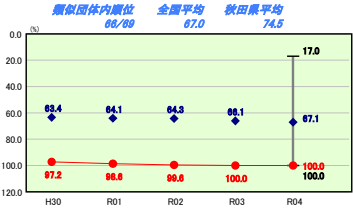
【学校施設】有形固定資産減価償却率



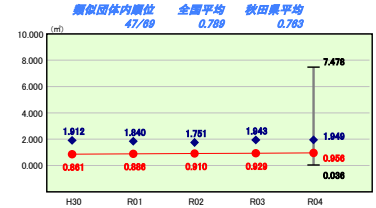
【学校施設】一人当たり面積



【公営住宅】有形固定資産減価償却率



【公営住宅】一人当たり面積



【児童館】有形固定資産減価償却率



【児童館】一人当たり面積



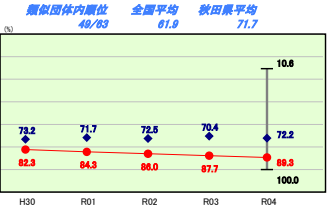
【港湾・漁港】有形固定資産減価償却率



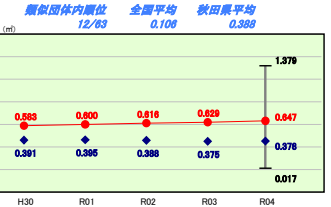
【港湾・漁港】一人当たり有形固定資産(償却資産)額



【公民館】有形固定資産減価償却率



【公民館】一人当たり面積



施設情報の分析

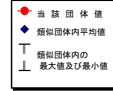
学校施設以外すべての施設の有形固定資産減価償却率が、県平均、類似団体平均を上回っている。学校施設については、統廃合が進んで町内に小中学校が1校づつとなり、そのいずれも近年改築を実施(中学校は平成20年度完了、小学校は令和2年度完了)したことにより、有形固定資産減価償却率が低下することとなった。公営住宅については、131戸全てが木造で、うち73%にあたる95棟が築30年以上となっている。また、残る36棟も築20年以上を経過した有形固定資産減価償却率が高くなっていることから、修繕などの課題はあるものの、入居者への下付けを模索しているものは、入居者との意見交換会を実施している。また、災害の危険箇所にある公営住宅については、入居者への災害の危険が高まった際の行動を説明するとともに、特に危険な箇所については、住宅に空きが出た場合でも入居者の募集を実施しない対応をとっている。道路については、耐用年数の設定の問題(令和2年以前のものに耐用年数10年と設定)があることもあり、有形固定資産減価償却率が高くなっているとされており、今後可能な限り是正を図っていく予定。また、特に橋りょうについては115橋の半数以上が耐用年数の45年を経過していることから、計画的な長寿命化工事等の実施に加え、日々の点検により事故防止に努めている。また、歩道を含め道路破損の一因となっている街路樹については、景観に配慮しながら計画的に伐採していく。公民館施設についても地区ごとに1カ所設置されてきたが、老朽化による計画的な改修は実施していくものの、人口減少による社会情勢の変化、避難所としての機能を考慮した適正な立地などを考慮し、統廃合も含めた移転改築も今後検討する必要がある。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

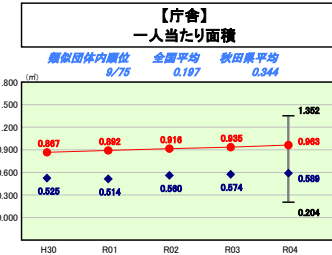
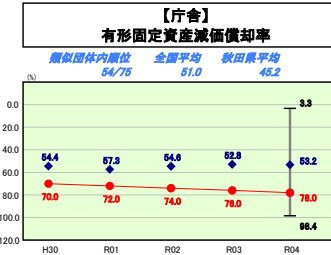
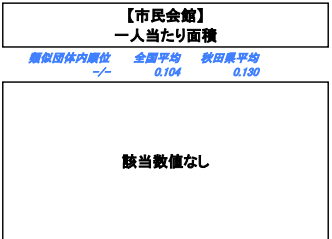
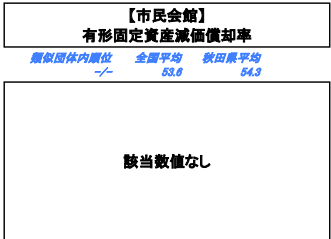
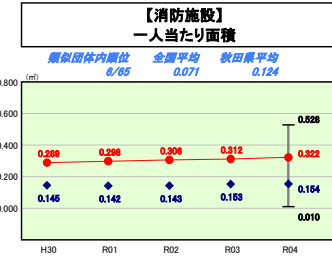
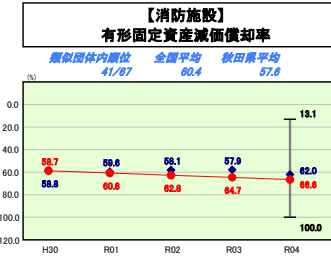
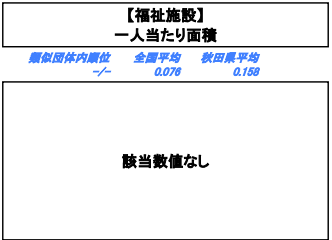
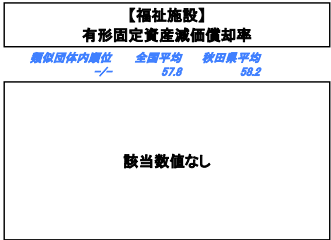
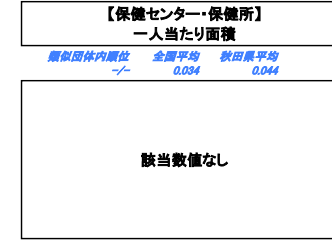
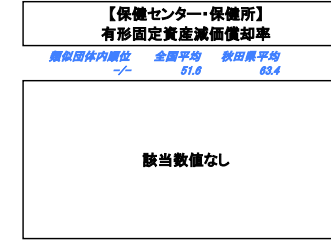
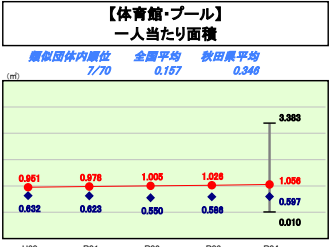
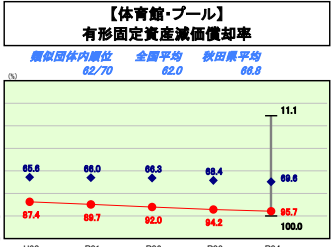
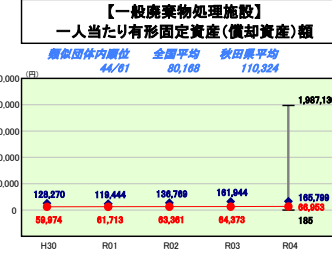
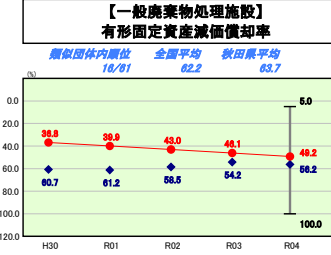
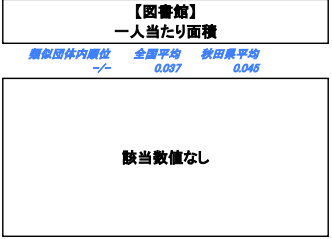
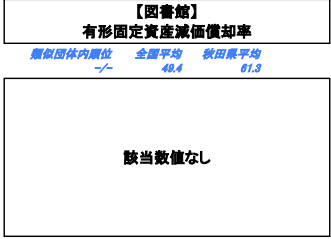
令和4年度

秋田県五城目町

人口	8,369人(05.11現在)	実業赤字比率	-%
うち日本人	8,360人(05.11現在)	通商実赤字比率	-%
面積	214.92km ²	実業公債費比率	9.5%
歳入総額	6,634,856千円	将来負担比率	62.1%
歳出総額	6,403,274千円	市町村類型	H30 II-2 R01 II-2 R02 II-2
実収支	162,506千円	(年度毎)	R03 II-2 R04 II-2
標準財政規模	3,814,610千円		
地方債現在高	6,152,956千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



施設情報の分析
 平成30年度よりし尿処理施設を広域化したことにより、既存施設を同年度に解体、これにより一般廃棄物処理施設の減価償却率が一旦下がったものの、以降はそれ以外の施設と同様下がることはなく上昇し続けている。なお、一般廃棄物処理施設以外では、現在すべて県平均、類似団体平均を上回っている。この他、いずれの施設についても建て替えの予定はなく、今後も有形固定資産減価償却率は上昇していくと想定されることから、公共施設等総合管理計画に基づく、機器の日常点検や定期点検による適切な維持管理を実施することで老朽化対策に努めていく。特に、役場庁舎については、これまで維持管理に努めてきたが、築40年以上が経過し益々設備の維持更新経費が大きくなっているとともに、突発的な故障が増えていることから、水道管などの配管の更新、冷暖房設備の計画的な見直しも検討しなければならないと考えている。